あかがわら　まな

赤瓦を学ぼう

もくじ

1.「赤瓦(あかがわら)」ってなに？・・・3

2. 赤瓦(あかがわら)の今(いま)と昔(むかし)・・・4

3. 加賀市(かがし)のとりくみ・・・5

4. 赤瓦(あかがわら)スポット・・・6

5. 赤瓦(あかがわら)について考(かんが)えてみよう・・・7

1.「赤瓦」ってなに？

みんなの住んでいる加賀市は普通の黒い瓦ではなく、赤い瓦「赤瓦」が多い地域なんだ。

この赤瓦の景色は加賀市のひとつの特徴なんだ。

だけど、その赤瓦の景色も少しずつ減ってきているんだ。

だから、みんなで赤瓦のことについて勉強してずっと守っていこう。

黒崎町の風景

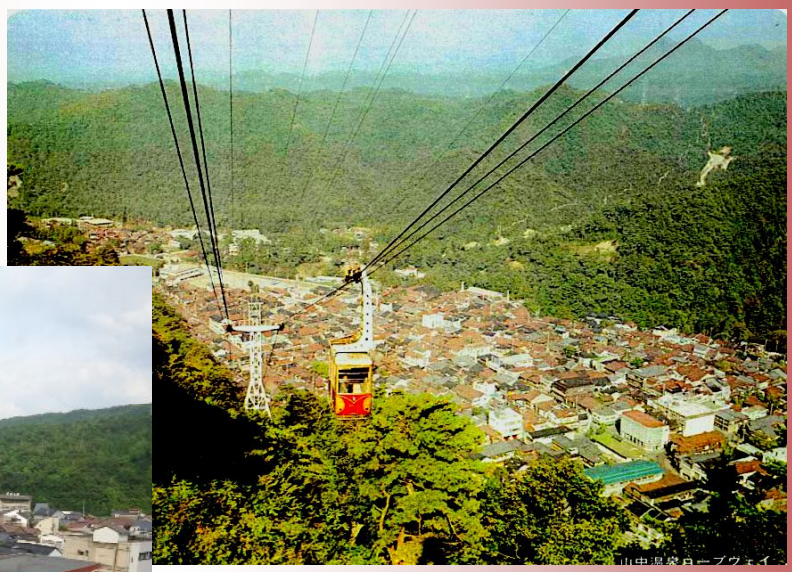
山中温泉我谷町の風景

豆知識①

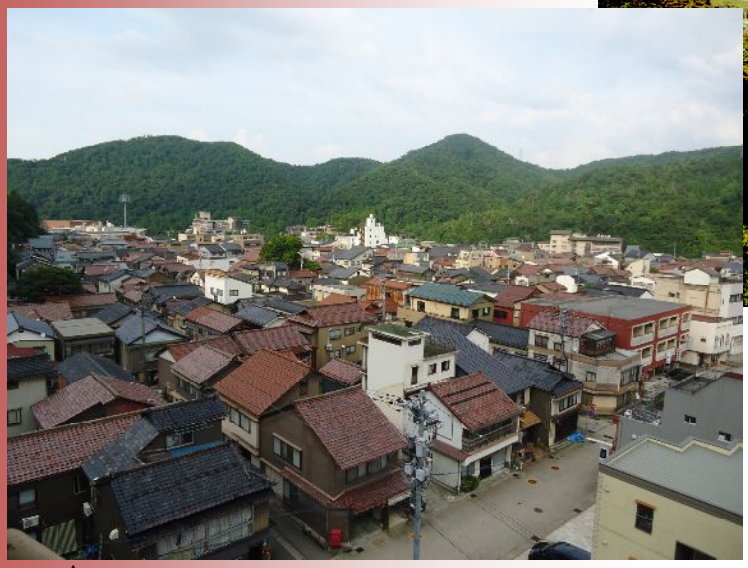
加賀市の赤瓦には、石川県の「小松瓦」や福井県の「越前瓦」他にも遠い島根県の「石州瓦」が北前船に乗って伝わってきたという説があるよ。いろんなところから来た瓦を使っているかもしれないよ。

2. 赤瓦の今と昔

山中温泉地区の風景



▲ 昭和４０年代の風景



▲ 平成２４年現在の風景

昭和４０年代の写真を見てみると、やっぱり今と比べて昔は赤瓦が多かったことが分かるね。

豆知識②　赤瓦にもいろいろある！？

赤瓦にもいろいろな種類があるんだよ。昔に職人さんの手で焼かれた瓦は一枚一枚の色が少しずつ違っていたりするんだよ。今でも昔のような瓦を作ったりもしているよ。今の赤瓦はきれいに統一されているんだ。どれも赤瓦だけど、少なくなっている昔の瓦は大切に残していきたいね。

上が昔で下が現代の瓦（北前船の里資料館）

3. 加賀市の取り組み

加賀市では、少なくなってきた赤瓦を守るため、新しく建てる市の建物を赤瓦にしたり、景観を整備するきまりをつくったりしているよ。

←山ノ下寺院群

7つの寺院と1つの神社が並んでいるよ。昔ながらのまちなみを残そうと、景観が整備されているんだ。

新川住宅 →

市が運営していて、赤瓦を守るために新しく建てられた住宅なんだ。子どもやお年寄りの安全にも配慮してあるんだよ。

←山代温泉古総湯、総湯

古総湯は、温泉の歴史や文化が楽しめる博物館になっていて、総湯は明治時代のものを復元したものなんだよ。2010年にオープンしたよ。

豆知識③

加賀市の橋立地区と東谷地区は日本でも98か所しか選ばれていない、重要伝統的建造物群保存地区に指定されているんだ。身近なところに貴重な風景がのこっているんだよ。

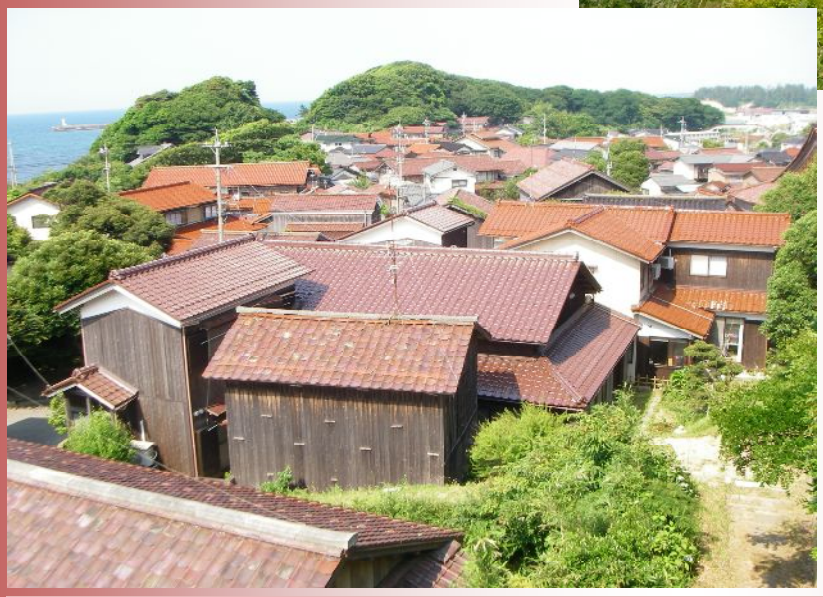
4．赤瓦スポット

←東谷

写真コンテストで賞をとった写真だよ。

黒崎→

整備してないのに、昔のままの赤瓦がたくさん。



←橋立

赤瓦と海があっていい景色だね。

豆知識④

２０１２年８月２５日に加賀市で赤瓦についての１回目のシンポジウムが開かれたよ。赤瓦の写真コンテストをしたり、偉い先生たちが赤瓦について話をしてくれたりしたよ。

5．赤瓦について考えてみよう

おじいちゃん、おばあちゃんにいろんなことをきいたよ

昔はどんな風景だったんですか？

いっぱい赤瓦があったんだよ

自分たちの住んでいるところの屋根を見てどれだけ赤瓦があるか調査したよ

あそこの屋根も赤瓦だ

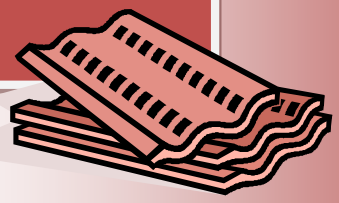
あそこは黒い瓦だ

調べたことを赤瓦景観シンポジウムで発表したよ

赤瓦は少なくなっていました

これからも残していってほしいです

みんなも家から飛び出して自分の家の瓦をみてみよう！！



赤瓦を学ぼう

製作：金沢大学人間社会学域　地域創造学類
地域創造学類　コース２年
松岡稔明
大滝尚
安田将希